

事業所名

おもちゃ箱ふなばし

支援プログラム

作成日

令和8年 4月 15日

法人(事業所)理念	「生きる」を楽しむ		
支援方針	一人一人の利用者さんの力を最大限に伸ばす支援、社会適応・未来を見据えた支援を目指す。		
営業時間	11時～17時	送迎実施の有無	有・無
	支援内容		
本人支援	健康・生活	健康管理・清潔習慣・基本的な生活スキルの獲得（衣服の調整・身だしなみ・片付け・食事の仕方・清潔保持等）：子どもたちが自身の健康に関心を持ち、自己判断で行動できるよう伝え方教え方を考え、丁寧に支援をしています。	
	運動・感覚	身体のコントロール（集団活動・体幹トレーニング）：自らの身体をコントロールすることで感情のコントロールへと繋げる事を目指しています。また、体幹を鍛える事で姿勢保持力を高め、集中力の継続へと繋がるよう支援をしています。	
	認知・行動	手伝い：自分の行動がどのように影響されるのか、自分の行動で助かる人がいるなど生活の中で知らせ、自分で考えて行動できるよう支援をしています。 色々な事を柔軟に捉える：色々な人と生活する中で、物事を柔軟に捉えられるよう「そういう時もある」「色々なやり方がある」と知らせていく。また時にはこだわりを崩す支援を家族と相談し取り組み社会に出たときに、色々な人に受け入れてもらえる人材を目指しています。	
	言語・コミュニケーション	発語・意思表示を増やす（挨拶・意思表示・会話）：一人ひとりの特性を見極め、最大限に成長を促せるよう繰り返し取り組んでいます。 伝える楽しさ（日常のコミュニケーション）：日頃の会話を大切に伝える楽しさ、ハンドサインなどを取り入れながらコミュニケーション力を向上させる。大人が介入しすぎず、子ども達の人と関わろうとする行動を大切にしています。	
	人間関係・社会性	友達や色々な人との関り：集団の活動を通し友達と活動する楽しさを感じられる内容を提供しています。（協力する遊び・ルールのある遊び・触れ合う遊び・買い物支援等） 集団で生活する楽しさ：常に集団を意識した支援を心掛け、子どもたちが社会の一員として生きる力を身につけられるようサポートしています。	
家族支援	家庭の事情や悩みに応じて家族支援を行う （例：朝の登校の付き添いなど） 必要に応じて集団生活（幼稚園や保育園・学校）への訪問・相談受付	移行支援	集団生活への引継ぎ表の作成
地域支援・地域連携	公共の遊び場に参加する。 他事業所と交流を行う。 事業所周りの掃除（年末）	職員の質の向上	定期的な研修・定期的な会議で情報共有
主な行事等	季節のイベント・誕生会・外出・保護者会・ミニ運動会・避難訓練		